

令和 7 年 度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事 業 報 告

令和7年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく 組織体制の基盤強化	1
2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画 に基づく重点事業	2

II 事業報告

1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業の推進	7
3. 相談援助事業の実施	10
4. 福祉資金貸付業務の実施	10
5. ボランティア事業の推進	12
6. 市委託事業の受託経営	15
7. 指定管理事業の受託経営	17
8. その他社協関連事業	27

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇専門家による支援

税理士による税務業務や記帳代行業務、社会保険労務士による労務相談を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇事業継続計画（BCP）に基づく危機管理体制の強化

災害発生時に全職員が速やかに参集し、施設及び事業等の復旧を図ることを目的に、参集状況の調査を行いました。また、危機管理に関する職員研修や机上訓練を実施し、職員の意識醸成を図りました。

◇中期経営計画の策定

第2期発展・強化計画の振り返りと法人の環境分析を行い、第3期中期経営計画の策定を行いました。

(2) 人材育成の取り組み

◇人材育成指針に基づく職員育成の実施

人材育成指針に基づく階層別の研修の実施や、各部署でOJTによる人材育成に取り組みました。

◇キャリアデザインの体系化

「目標設定シート」による目標管理体制が定着してきており、全職員が自己の成長と振り返りを意識することができました。また面談者の見直しを行い、柔軟な目標管理体制を構築しました。

◇職員研修制度の充実

各種キャリアパス研修や専門研修などを受講し、人材の育成に努めました。また、人材育成指針に基づき組織内での交流研修を実施しました。

(3) 財政基盤の強化

◇経費の有効活用

経費削減チェックリスト及び光熱水費等の使用料推移表を活用することで、職員一人一人の意識醸成を図り、経費削減に努めました。

2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【基本目標1】

市民の暮らしを支える仕組みづくり

◇地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関と課題や現状について情報交換、意見交換を行い、連携を図りました。また、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、関係機関と情報共有を行いながら生活課題を抱える方の支援を行いました。

◇相談支援体制の充実

福祉に関する様々な相談（児童、高齢者、障害者、就労、生活困窮、権利擁護等）に対応するとともに、各専門機関と連携し支援を行いました。

また、ボランティア保険の出張受付を実施し、ボランティアに関する相談支援、情報周知を行いました。

◇保健医療・社会福祉サービスの充実

介護、障害者支援等の専門機関同士がそれぞれの活動や機能を十分に理解し、支援体制を構築していけるよう研修会を開催しました。昨年度のアンケート結果を踏まえ、より関心の高い内容を盛り込むことで様々な関係機関が参加し、連携及び資質向上を図りました。

◇権利擁護の推進

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

成年後見制度について広く市民に周知するために、行政書士による成年後見・遺言・相続等の無料相談会を2回実施しました。

その他、施設でのポスター掲示や出前講座などで権利擁護に関する取組みの周知啓発を行いました。令和7年1月に開始された法人後見事業では、運営委員会を2回開催し、委員会の承認を経て、6月に精神障害のある方1名、3月に高齢者1名の後見人として受任しました。

◇生活困窮者等への支援の充実

相談者の生活状況を把握し、生活福祉資金貸付だけではなく、他機関による資源（生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等）の情報提供を通して生活再建できるよう支援しました。また、食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行ったほか、市民や企業から食料品等の寄付、寄贈を受け付け、生活困窮者への支援を行いました。

◇地域住民の交流の促進

各施設で事業を実施し、参加者が交流を深められる機会の提供に努めました。また、ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会などの活動団体の運営を支援するため、助成金の交付やサロン交流会を行いました。

【基本目標 2】

思いやりと支え合いの心づくり

◇地域福祉に関する理解と参加の促進

地域福祉の担い手の育成、福祉活動への参加支援として各施設で実習生やボランティアの受け入れを行いました。また、ボランティア講座の開催やボランティア体験プログラムを実施し、ボランティア活動のきっかけづくりを行いました。その他、出前講座を実施し地域で活躍している団体の活動支援を行いました。

住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」では、新規協力会員向け講座を開催し、地域の支え合い活動の促進を図りました。

◇支え合い・助け合いの気持ちの醸成

近隣4市（朝霞市、和光市、志木市、新座市）のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催しました。その他、小・中学校などで行う福祉教育では福祉教育サポーター（ボランティア）の協力を得て実施し、支え合い・助け合いの気持ちの醸成を図りました。

◇地域での見守りの充実

あいはあと事業新規協力会員向け講習会、協力会員フォローアップ研修会において、互助の助け合いの重要性について説明し、地域住民が主体となって見守り活動を行うことの必要性について理解を深めました。

◇情報共有・発信の充実

広報紙「社協あさか」、ホームページ、X、Facebook、YouTubeなどの情報媒体を活用し、情報発信を行いました。また、地域活動団体を訪問する際に広報紙やチラシを持参し配布するなどの情報提供を行いました。

◇地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

地域の福祉活動団体、シニアクラブなどに対し相談支援や行事のサポート、助成金を交付し、活動を支援しました。また、手話講習会やボランティア講座などを実施し、地域福祉を支える人材の育成に取り組みしました。

【基本目標 3】

安心して暮らしやすい地域づくり

◇施設等の整備・充実

地域の住民が気軽に集うことができる場について関係機関との情報交換、地域活動団体の活動場所についての情報提供等を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、利用者が安心・安全に利用できるように日頃から点検や修繕を行いました。

◇防災対策の充実

朝霞市主催の防災フェアでのブース出展や出前講座を実施し、防災に関する周知・啓発を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、様々な災害を想定した防災訓練を行い、防災意識の啓発に努めました。

◇防犯対策の充実

本会が管理運営する施設において、防犯に関するポスター掲示やチラシの配布、不審者情報などを周知し、利用者に対し注意喚起を行いました。また、放課後児童クラブでは防犯教室を実施し、防犯に対する意識の啓発を図りました。

◇外出・移動の支援

外出や移動に困難を抱えている人に対し車いすの貸出しを行いました。また、広報紙やSNSで周知し、利用の促進を図りました。

◇住まいの確保等への支援

住まいの確保に困難を抱えている人の相談に応じ、各種制度に関する情報を提供した他、生活面で困窮している相談者には生活福祉資金貸付の案内を行いました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定めるとともに各種委員会の開催など、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

広報活動として、ホームページやX等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、職員の能力開発のための研修や人材育成指針に基づく研修を実施するとともに、各種休暇の取得を促進するなど、魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和7年第3回	令和 7年 6月10日	10人 (監事2人含む)	補正予算等 8議案
令和7年第4回	令和 7年 6月25日	7人	第31期会長の選定について等 5議案
令和7年第5回	令和 7年 9月 8日	8人	補正予算等 5議案
令和8年第1回	令和 8年 2月 4日	7人	補正予算等 3議案
令和8年第2回	令和 8年 3月18日	7人	補正予算等 10議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和7年 定時評議員会	令和 7年 6月25日	16人	補正予算等 5議案
令和7年第3回	令和 7年 9月24日	13人	補正予算等 2議案
令和8年第1回	令和 8年 2月17日	18人	補正予算 1議案
令和8年第2回	令和 8年 3月31日	18人	補正予算 5議案（書面決議）

○正副会長会議

理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

- ・開催回数：4回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和7年5月26日（出席者4人）
 広報紙「社協あさか」7月号（No.199）の編集発行について
 令和6年度寄付金の収納状況について
 令和6年度社協会員募集報告、及び令和7年度社協会員募集について
- ・第2回：令和7年8月21日（出席者5人）
 広報紙「社協あさか」10月号（No.200）の編集発行について
- ・第3回：令和7年11月20日（出席者5人）
 広報紙「社協あさか」1月号（No.201）の編集発行について
 第3期中期経営計画について
- ・第4回：令和8年2月19日（出席者5人）
 広報紙「社協あさか」4月号（No.202）の編集発行について

○企画委員会

- ・第1回：令和7年7月30日（出席者3人）
 令和6年度朝霞市社会福祉協議会事務事業評価について
- ・第2回：令和7年12月25日（出席者3人）
 第5期地域福祉活動計画について
 次期指定管理者申請について
- ・第3回：令和8年3月13日（出席者3人）
 地域福祉団体への助成について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和7年6月23日（出席者5人）
 第29期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：令和7年6月3日

令和6年度業務監査及び会計監査

○中間監査：令和7年11月18日

令和7年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会において、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『ともに生きる豊かな地域社会「あさか」の実現』に向けて、重点項目に則った事業を展開、実施するとともに、その推進状況について検証を行いました。

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とXやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

○広報紙「社協あさか」の発行

- ・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】
- ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
- ・発行部数：35,500部／回

○情報発信

	令和7年度	令和6年度
X	1,559件	1,682件
Facebook	1,320件	1,544件
You Tube	123件	118件
Instagram	120件	—

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修の実施及び参加により、組織力の向上に繋がりました。

◇るくるん募金箱設置の推進

るくるん募金箱設置の周知・啓発を行い、新たな設置先について検討しました。

【寄付金実績報告】

※るくるん募金箱設置か所：9か所（令和7年度末現在）

	令和7年度	令和6年度
個人	延べ6件 103,391円	延べ6件 89,655円
団体	延べ25件 364,917円	延べ27件 584,526円
るくるん募金(常設)	9か所 28,832円	7か所 43,037円
るくるん募金(イベント)	2回 54,389円	
合計	551,529円	717,218円

2. 地域福祉事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民の方々と協働し地域の生活課題に取り組み、地域の支え合いの仕組みづくりを行いました。また、地域で活動している地域福祉活動団体に対し、相談支援、福祉情報の発信、助成金の交付、出前講座の提供など、活動支援を行いました。

また、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が配置され、地域のつどい場マップの作成や、子育て等生活の困りごと相談会を実施し、相談対応を行いました。

◇社協会員の募集

社協活動への理解と参加の促進、及び自主財源の確保のため、地域住民、自治会・町内会、市内外事業所に周知・啓発を行い、会員の募集を行いました。

(一般会員500円以上、賛助会員1,000円以上、特別会員5,000円以上)

○実施期間：令和7年7月1日～令和8年3月31日

○目標額：7,000,000円

○実績額：6,003,087円

○加入状況内訳 ※()内は、振込による加入

	令和7年度	令和6年度
一般会員	1,735世帯 (0)	2,460世帯 (0)
賛助会員	315世帯 (11)	294世帯 (15)
特別会員	173世帯 (75)	178世帯 (72)
500円未満	1,287世帯	769世帯

【社協会員募集説明会】

○対象者：自治会・町内会長

○期 日：令和7年6月13日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加者：合計20人

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和7年度	令和6年度
一般募金配分金	2,997,000円	3,130,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,401,974円	3,688,815円

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和7年度	令和6年度
交付先	自治会・町内会 58団体	自治会・町内会 59団体
助成金額	1,829,040円	1,997,790円

◇第4期地域福祉活動計画の進行管理、及び第5期地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画の基本理念・基本目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。また、社協が策定する地域福祉活動計画は市の地域福祉計画と基本理念を共有し、連携を図ることが求められていることから、次期計画の策定を協働で進めています。

(進行管理については2～4ページ参照)

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の進捗状況の確認、評価、及び次期計画の策定を行うため、朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和7年 5月27日	朝霞市総合福祉センター	14人
第2回	令和7年 8月22日	朝霞市総合福祉センター	12人
第3回	令和7年10月14日	朝霞市総合福祉センター	10人
第4回	令和8年 1月 7日	朝霞市総合福祉センター	11人

【朝霞市地域福祉活動計画策定検討委員会】

第5期朝霞市地域福祉活動計画の策定のため、社協職員による策定検討委員会を開催しました。

○期 日：令和7年4月26日～令和8年2月10日 全7回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○出席者：延べ31人

【朝霞市地域福祉活動計画に関する職員研修】

第4期朝霞市地域福祉活動計画の成果と課題を職員全体で共有し、次期計画策定に向けた共通認識と意識の醸成を目的に開催しました。

○期 日：令和7年12月16日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加者：43人

○講 師：立教大学コミュニティ福祉研究所 丸山 晃 氏

(第4期朝霞市地域福祉活動計画 推進委員長)

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

各団体が抱えている課題などの相談を受け、必要に応じて各関係機関と協働し支援を行いました。また、サロン交流会を実施した他、本会以外の助成金情報について情報提供を行いました。あわせて、職員が各団体へ定期的に訪問し、状況確認や顔の見える関係づくりを継続しました。

その他、各団体が主催するイベントや活動情報などをホームページやXで周知し、活動支援を行いました。

【サロン交流会（サロン活動サポート会）】

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和8年2月26日	朝霞市総合福祉センター	12人
第2回	令和8年3月5日	朝霞市民会館	18人

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和7年度	令和6年度
団体数	36団体	39団体
助成金額	1,248,500円	1,262,500円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和7年度	令和6年度
団体数	14団体	11団体
助成金額	405,000円	315,000円

○地域福祉活動（開設費）助成金

	令和7年度	令和6年度
団体数	1団体	0団体
助成金額	5,000円	0円

○歳末援護金

	令和7年度	令和6年度
団体数	16団体	19団体
助成金額	154,000円	190,000円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と福祉への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「福祉サービス説明」や「障害のある方の講演」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。また、出前講座メニュー一覧を見直し、社協まるわかり帳とホームページに掲載しました。

	令和7年度	令和6年度
実施回数	8回	17回

◇生活困窮世帯への支援

【ひとり親家庭支援事業】

生活にお困りのひとり親家庭の方へ食材や学用品等の費用を支援しました。

○期 間：令和7年10月1日～令和8年3月6日

○現金振込：49世帯（最大10,000円／1世帯）

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和7年度	令和6年度
生活支援員	13人	14人
活動日数	延べ170日	延べ172日
相談件数	延べ655件	延べ1,088件
利用契約者	12人（認知症高齢者8人、知的障害者2人、精神障害者2人）	10人（認知症高齢者6人、知的障害者2人、精神障害者2人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページやX、広報紙「社協あさか」にサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員交流会の実施

福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動している方同士で思いや困りごとなどを共有、情報交換を行っていただくことで、今後の活動に役立てていただくことを目的に交流会を開催しました。また、市民後見人の活動の場としての、あんしんサポートねっとを知る機会として、令和7年度埼玉県市民後見人養成研修を受講、修了された方3人も参加しました。

○期 日：令和8年3月3日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加人数：5人

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：38件（高齢者・障害者関係、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：49件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和7年度	令和6年度
貸出回数	49件	69件

4. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和7年度	令和6年度
貸付相談	延べ205件	延べ158件
貸付件数	7件	4件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和7年度	令和6年度
貸付相談	延べ11件	延べ3件
貸付件数	1件	2件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、緊急小口資金等の特例貸付を利用した世帯に対し、償還についての相談援助、償還猶予にかかる面談、生活状況確認の電話や生活保護受給相談同行等のフォローアップ支援を実施しました。

○償還相談：延べ92件

○償還猶予面談：延べ26件

○フォローアップ支援：356件

◇生活困りごと相談会

県社協のサポートにより、特例借受人だけでなく地域住民も対象とした「生活困りごと相談会」を実施し、ファイナンシャルプランナーによる家計の見直しや弁護士による債務整理の相談等を行い、様々な困りごとに対応しました。

○期 日：令和8年1月31日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○相談者：延べ54人

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった生活困窮世帯のうち緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員に代行して食材支援を実施しました。

	令和7年度	令和6年度
福祉資金貸付事業相談	延べ572件	延べ195件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	13人	20人

5. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和7年度	令和6年度
個 人	1 5 9人	1 5 6人
団 体	4 5 3人（4 1団体）	4 7 3人（3 2団体）

○相談件数

	令和7年度	令和6年度
相談件数	延べ1 4 0件	延べ1 7 5件

○団体利用室利用状況

	令和7年度	令和6年度
登録団体	1 7団体	1 2団体
利用件数	延べ1 0 2件	延べ7 7件

◇ボランティア保険受付出張窓口の実施

来所が困難であるというボランティアの声をうけ、利便性の良い朝霞市市民活動ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付窓口を実施しました。

○対象者：朝霞市民等

○期 日：令和8年3月17日、25日（2日間）

○場 所：朝霞市市民活動支援ステーション

○来所者数：合計9人

◇ボランティア情報の収集、発信

○ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等への配布を通じて、情報発信を行いました。

○朝霞市社協ホームページやX等のSNSへの情報掲載、情報コーナーでのボランティア情報掲示を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協共催）

○対象者：朝霞地区四市で福祉教育に携わる教職員及びボランティア等（会場：新座市）

○期 日：令和7年7月30日

○場 所：新座市民会館

○内 容：講演「福祉体験学習で伝えたい障がい当事者からのメッセージ」

事例発表「福祉教育における学校と地域の連携」

講演「これからの福祉体験学習のあり方」、ワークショップ「体験学習プログラムのつくり方」

	令和7年度	令和6年度
四市合計	8 3人	6 6人
朝霞市内	1 5人	2 4人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。
また、4月に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を市内小中学校及び高校へ送付し、福祉教育の啓発に努めました。その他、障害のある方や福祉教育サポーターの協力を得て実施しました。

○依頼件数

	令和7年度	令和6年度
延べ件数	87件	107件
小学校	9校	9校
中学校	2校	2校

○内 容：事前学習「福祉について」、体験学習（車いす・アイマスク・手話）
講演「視覚障害者への理解」等

○福祉教育用機器貸出件数：28件（車いす・アイマスク・点字盤・高齢者疑似体験セット・ボッチャ等）

◇地域福祉活動の担い手の育成

地域住民同士の支え合い活動を推進するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業新規協力会員向け講習会を開催しました。

また、令和7年度登録済みの協力会員を対象に「協力会員ミーティング（フォローアップ研修会）」や「換気扇掃除講習会」を実施しました。活動紹介や交流会を通して協力会員同士の連帯感や地域活動を行う“やりがい”を感じてもらうこと、地域の支え合い活動の必要性や役割を学ぶ機会を設けました。

（15ページ参照）

◇ボランティア講座の開催

社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図れるよう学びの機会として、また、ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、ボランティア講座を実施しました。

○期 日：令和8年2月20日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：ボランティア活動について

住民参加型在宅福祉サービスあいはあと事業の説明

ボランティア活動者の講話

障害への理解（視覚障害のある方のお話）

○参加者：22人

◇ボランティア体験プログラムの実施

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期 間：令和7年7月～8月

○場 所：市内各福祉施設等

○参加者：86人（延べ101人）

【説明会】

○期 日：令和7年7月12日（3回）、7月24日、8月5日（2回）

○参加者：89人

◇災害ボランティアセンターの体制整備

○平時からの準備として、共募配分金を活用し、災害ボランティアセンター資機材の充実を図りました。

○朝霞市内で大規模災害が発生した際の、車両・資機材の提供や人的支援等に関する災害協定を、朝霞ライオンズクラブと締結しました。

・協定名：自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書

・締結日：令和8年3月24日

○災害ボランティアセンターに関する職員の意識醸成を図るため、災害ボランティアに関わる職員研修を実施しました。

日時：令和8年3月11日

場所：朝霞市総合福祉センター

内容：講義、資機材点検及びテント組立、システム（キントーン）情報の共有

参加者：社協職員 63人

○災害に備え、朝霞市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて、現状に即した改訂を行いました。

◇“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

日常生活のちょっとした困りごとを解決するため“住民参加型”在宅福祉サービスあいはあと事業を地域住民に協力いただき実施しました。

地域住民に事業の情報を分かりやすく伝えるため、ホームページやパンフレットを活用して周知活動を行いました。また、広報紙「社協あさか」に利用会員向けの記事を掲載し、情報提供に努めました。

地域の担い手として活躍する人材を確保するため新規協力会員向け講習会を開催し、利用会員のニーズに応えられる体制を整えました。また、協力会員を対象に「協力会員交流会」を実施し、協力会員の活動紹介や地域活動を行う“やりがい”について意見交換し、地域の支え合い活動の必要性や役割について理解を深めました。

関係機関の専門職・支援者等に本事業を理解してもらうため、新規協力会員向け講習会や協力会員交流会の参加依頼を行いました。また、必要に応じて関係機関と情報共有を行い、利用会員宅へ訪問時は同行してもらうなど、関係機関と顔の見える関係づくりを行いました。

【活動実績】

	令和7年度	令和6年度
相談件数	154件	151件
利用会員数	140人 (定期71人 単発69人)	118人 (定期47人 単発71人)
利用会員内訳	高齢者106人 障害者20人 子育て14人	高齢者101人 障害者12人 子育て5人
協力会員数	69人	77人
利用・活動日数	延べ1087日	延べ704日
利用・活動時間	延べ1441時間30分	延べ944時間30分

【新規協力会員向け講習会】

- 開催日：令和7年8月26日・10月23日・12月11日
- 開催方法：会場 朝霞市総合福祉センター（1回）、オンライン説明（2回）、個別説明（3回）
- 参加人数：12人（内：会場4人、オンライン5人、個別説明3人）
- 参加者内訳：一般市民6人、市役所2人、地域包括支援センター4人

【協力会員交流会（フォローアップ研修会）】

- 開催日：令和8年2月12日
- 場所：朝霞市総合福祉センター
- 対象者：あいはあと事業協力会員（令和7年度登録者）、関係機関
- 参加者：14人
- 内容：あいはあと事業活動紹介（事例紹介）、交流会、質疑応答

6. 市委託事業の受託経営

（1）手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和7年度	令和6年度
依頼件数	596件	536件
派遣件数	574件 (個人404件・自治体72件・学校25件・団体73件)	502件 (個人356件・自治体47件・学校19件・団体80件)
派遣人数	延べ683人 (専任延べ272人・登録延べ380人・他機関派遣協力31人)	延べ590人 (専任延べ260人・登録延べ312人・他機関派遣協力18人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
入門(昼)	令和7年5月 ～令和7年10月	14人	佐野立太郎氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
基礎(昼)	令和7年10月 ～令和8年3月	12人	佐野立太郎氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
中級(夜)	令和7年5月 ～令和7年9月	12人	小林聖司氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
養成 (前半・夜)	令和7年10月 ～令和8年9月	6人	中山明人氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者

◇手話体験会

- 期 日：令和7年7月25日・8月1日・8日・22日
○参 加 者：11人

◇朝霞市日本手話言語条例講演会

- 期 日：令和8年2月7日
○講 師：北谷宏人氏・鎌田真衣氏
○参 加 者：54人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和8年3月7日
○講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
○受 講 者：4人

（2）一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

新規事業として、世代間交流や認知機能及び身体機能の維持を目的とした『絵本読み聞かせ講座』を開催いたしました。また、シニア男性を対象として地域活動や社会参加、ボランティア活動の担い手育成などを目的とした講座を開催いたしました。

関係機関との連携を図り、住民が運営主体の活動について継続的な支援を行いました。市内リハビリ専門職との関わりを通じて、体操のアドバイスの他、身体機能評価や体力チェックを行う相談会の開催など、介護予防の啓発活動にも取り組みました。

令和7年度	期間	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (連続講座)	11月	4回	28人
ノルディック・ウォーク フォローアップ事業	6月～3月	8回	72人

健康太極拳教室（連続講座）	4月～7月 9月～2月	12回 24回	529人
絵本読み聞かせ講座	4月～7月	14回	190人
シニア男性のための 「筋トレ講座」 「歌声パワーアップ講座」 「動ける身体の食講座」	1月～3月	3回	36人
専門職講座 老いませ身体操(溝沼老人福祉センター) (浜崎老人福祉センター)	5月～7月 9月～11月 1月～3月	16回	406人
専門職講座 普段の生活の中で実践できる 『“ながら”体操』 (フレイル予防体操講座)	3月	2回	24人
専門職講座 おんがく広間	4月～3月	11回	131人
脳活講座 切り絵体験 切り絵体験（2回連続講座）	7月 10月	1回 2回	8人 22人
脳活講座 写仏体験講座	6月 2月	2回	20人
各自主グループ継続支援 (絵本読み聞かせ・ノルディック・ 太極拳・切り絵・健康体操)	随時実施	220回	3,167人
シニアクラブ支援	随時実施	12回	176人
各種講座・相談会	随時実施	5回	82人

7. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和7年度	令和6年度
開館日数	293日	292日
共用施設利用状況	574件	564件
利用人数	延べ5,675人	延べ5,655人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室

○消防・避難訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

令和7年9月19日 参加者：110人

令和8年2月 9日 参加者： 19人

令和8年3月12日 参加者：110人

○洪水時等の避難確保計画による訓練の実施

大雨や洪水時等の有事に際し、情報の伝達、避難誘導について机上訓練を行いました。

令和7年9月10日 参加者： 14人（職員による机上訓練）

○はあとぴあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施しました。

・期 日：令和7年11月23日

・来 場 者：延べ1, 541人

【はあとぴあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、事業の実施に努めました。

① 開 所 日：月曜日～金曜日

	令和7年度	令和6年度
	開所日数	開所日数
生活介護	242日	243日
就労継続支援B型	242日	243日

②利用者数（年度末）

	令和7年度		令和6年度	
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数
生活介護(定員36人)	27人	5,049人	31人	5,580人
就労継続支援B型(定員44人)	29人	6,433人	30人	6,912人
合 計	56人	11,482人	61人	12,492人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和7年度		令和6年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
10社 本会3部署	2,089,048円	11社 本会3部署	2,228,078円	食品容器シール貼り、熱処理 部品スプリング通し、封入封 緘、チップ拭き、靴下ストッ キング返し作業、景品封入 れ、バスマットクリーニング 及び交換作業等

○社会参加活動

実施事業
朝霞市ふれあいスポーツ大会、赤い羽根共同募金街頭募金、彩夏祭「鳴子踊り」

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇の植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備、朝霞市
庁舎本館正面花壇の植栽

令和7年度		令和6年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,526,500円	ふれあい	4,092,000円
朝霞駅南口広場	902,000円	朝霞駅南口広場	885,500円
朝霞市庁舎本館 正面玄関	72,000円	朝霞市庁舎本館 正面玄関	66,000円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和7年度			令和6年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
146日	1,682人	485,490円	159日	1,621人	480,682円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和7年度			令和6年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
194日	2,872人	3,456,180円	183日	2,661人	3,484,925円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）
市役所、ふれあいマルシェ、朝霞市防災フェア

⑧売店カフェ「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和7年度			令和6年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
231日	2,378人	734,815円	232日	2,847人	736,980円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業
保護者懇談会、個別面談、避難訓練（地震、火災、水害を想定し、避難所への避難を想定した訓練も実施）、はあとぴあふれあい祭り、日帰り課外体験研修、保護者交流会、誕生日会、健康増進体操事業、理学療法、作業療法、音楽療法、社会生活力事業

⑩保健衛生

実施事業
利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、内科検診、生活習慣病予防事業等

⑪ボランティアの受入

令和7年度		令和6年度	
受入人数	33人	受入人数	6人
活動内容	彩夏祭「鳴子踊り」、健康増進体操事業、音楽療法、日中活動補助	活動内容	彩夏祭「鳴子踊り」

【はあとぴあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ障害者相談支援センターと合同で会議を開催し、情報提供と日ごろからの連携の必要性の共有を図りました。また新しい企画として、特別支援学校と企業の方を講師として招き、就労を目指すために必要なことについて、関係機関や保護者に向けた勉強会を行いました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和7年度	登録者	43人	118人	151人	5人	317人
	就職者	2人	9人	12人	0人	23人
令和6年度	登録者	59人	129人	244人	13人	445人
	就職者	4人	11人	17人	0人	32人

○就職先の主な職種

職種	身体	知的	精神	その他
事務職		2人	4人	
小売店品出し		3人	1人	
ピッキング・仕分け・軽作業		1人	1人	
農業・水耕栽培		2人	2人	
調理		1人		
清掃			1人	
組立検査	1人			
介護・介護補助	1人		1人	
就労継続A型			2人	
計	2人	9人	12人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	32件 (令和6年度25件)	雇用相談	延べ 1000件 (令和6年度延べ845件)
調査研究・普及啓発	延べ 144件 (令和6年度延べ130件)	関係機関との連携	延べ 823件 (令和6年度延べ687件)

○余暇支援事業

- ・社会生活力向上支援
身だしなみ講座
期 日：令和7年7月8日
場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室
参加者：16人
- ・ふれあいスポーツ大会参加
期 日：令和7年9月20日
場 所：朝霞市立総合体育館
参加者：7人
- ・はあとぴあふれあい祭り周知
周知方法：郵送・X投稿
- ・社会生活力向上支援
自転車安全講習会
期 日：令和8年2月25日
場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）アリーナ
参加者：33名（はあとぴあ福祉作業所と合同で実施）

【はあとぴあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体状況、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和7年度も、障害者就労支援センターと情報共有と日ごろから情報の共有などの連携を行うと共に、外部講師を招いての講座も行い相談スキルの向上を図りました。また、施設見学会では、緊急時の受入を行っている施設の見学を行いました。

○身だしなみ講座（社会生活向上力支援）

対象者：計画相談契約者および委託相談登録者

期 日：令和7年7月8日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

参加者：16名

講 師：資生堂 美容部

○障害者の就労について

対象者：保護者・近隣福祉サービス事業所等

期 日：令和7年8月19日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

参加者：44名

講 師：埼玉県立さいたま桜高等学校

株式会社カインズ 障害者雇用担当

○施設見学会

対象者：障害サービスを利用している利用者の保護者

期 日：令和8年1月20日

場 所：入所・通所施設（あさか向陽園）

参加者：11名

○自転車交通ルールについて（社会生活向上力支援）

対象者：計画相談契約者および委託相談登録者

期 日：令和8年2月25日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）アリーナ

参加者：33名（はあとぴあ福祉作業所と合同で実施）

講 師：埼玉県警察本部交通安全教育指導班「ふれあい」

○権利擁護について（親亡き後、成年後見）市民向け講座

対象者：朝霞市民・市民介護保険事業所・障害福祉サービス事業所等

期 日：令和8年3月4日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

参加者：58名

講 師：社労士成年後見センター埼玉あさか支部

<基本相談>

	身体	知的	精神	その他	合計
令和7年度 利用者数	209人	243人	1,135人	215人	1,802人
相談件数	200件	174件	998件	215件	1,587件
令和6年度 利用者数	67人	363人	687人	191人	1,308人
相談件数	48件	362件	608件	191件	1,209件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和7年度契約者数	127人	73人	200人
令和6年度契約者数	124人	79人	203人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること） ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇権利擁護に関する支援等		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

溝沼老人福祉センターは、大広間・中広間・教養娯楽室のエアコン故障により、7月7日～8月30日まで一部事業・定例会を中止しました。

※9月1日より通常開館

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
開 館 日 数	293日	292日	292日	289日
年 間 利 用 者 数	33,395人	32,911人	35,550人	35,978人
1日平均利用者数	114人	113人	122人	124人
個 人 利 用 者 数	27,091人	26,768人	32,082人	32,289人
団 体 利 用 者 数	1,332人	1,840人	1,095人	1,567人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
実 施 日 数	年6回	年5回	年6回	年6回
相 談 件 数	48件	28件	45件	55件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

遊びを通じて子どもたちが心身ともに健やかに育つように支援し、子育て家族への交流・相談の場の提供を行い、児童館が健全育成の推進・ネットワーク作りの地域拠点となり、各世代が主体的に利用できる「地域に根ざした児童館」を目指し事業を展開しました。

また、こどもの居場所づくりに関する国の方針を踏まえ、利用者ニーズの把握に努めながら、従来の事業運営で培った経験を活かして、新たな事業創出に取り組みました。

○利用状況

児童館名	開 館 日 数		年 間 利 用 者 数		1 日 平 均 利 用 者 数	
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度
きたはら	290日	288日	37,425人	37,185人	129人	129人
はまさき	293日	292日	36,802人	29,354人	126人	101人
みぞぬま	292日	293日	57,012人	54,929人	195人	187人
ねぎしだい	293日	292日	27,913人	29,930人	95人	103人
ひざおり	292日	288日	38,860人	35,114人	133人	122人
ほんちょう	291日	289日	55,902人	59,098人	192人	204人
合 計	1,751日	1,742日	253,914人	245,640人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、交流事業、合同事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり、季節事業、大会、ボランティア事業

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

ク ラ ブ 名	定 員		在籍数 (年度当初)		延べ児童数	
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度
本 町	115人	115人	113人	112人	1,349人	1,334人
朝 志 ヱ 丘	150人	150人	145人	142人	1,654人	1,565人
岡	122人	122人	120人	120人	1,355人	1,362人
膝 折	130人	130人	128人	109人	1,367人	1,239人
栄 町	135人	135人	132人	133人	1,514人	1,498人
浜 崎	148人	148人	145人	147人	1,522人	1,619人
泉 水	125人	125人	124人	118人	1,463人	1,428人
幸 町	98人	98人	98人	102人	1,131人	1,154人
根 岸 台	80人	80人	80人	80人	934人	918人
溝 沼	140人	140人	130人	137人	1,377人	1,549人
合 計	1,243人	1,243人	1,215人	1,200人	13,666人	13,666人

○主任会議・指導員会議の開催 1回／月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

①開 所 日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和7年度		令和6年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	17人	15人	15人
就労移行支援	8人	0人	8人	0人
就労継続支援B型	37人	23人	37人	26人
合計	60人	40人	60人	41人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和7年度		令和6年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
7社 本会1部署	2,884,122円	7社 本会1部署	2,244,950円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和7年度		令和5年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
129回	6,658,335円	136回	6,463,134円	店頭販売、市ブース販売、注文販売等

○カフェ売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和7年度			令和6年度		
営業日数	来客者数	売上	営業日数	来客者数	売上
234日	2,801人	736,735円	235日	2,798人	735,370円

※はあとぴあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に
応じて、はあとぴあ福祉作業所と按分

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会（市役所）、市内企業での社員向けパン販売会、彩夏祭関八州よ
さこいフェスタ（鳴子踊り）、朝霞市ふれあいスポーツ大会、赤い羽根共同募金街頭募
金活動

⑤就労支援（就労移行支援）

広報紙「社協あさか」等を通し、サービスの提供についての周知・啓発に引き続き努めて
まいります。

⑥主な年間行事

個別面談、外出事業、音楽療法、理学療法指導、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科診察、歯科検診等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ11人（彩の国ボランティア体験プログラム、社会福祉士援助技術実習、
介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃
や消毒及び手指消毒の徹底等、感染症拡大防止対策に努めました。また、施設と地域との
顔の見える関係を構築し、障害福祉への理解や促進を図ることを目的として、障害者ふれ
あいセンターまつり『ふれあいマルシェ』を開催しました。

○障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』の開催

・開催日 令和7年10月25日

参加者：約500人

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和7年9月19日

参加者：49人（利用者31人・職員18人）

・第2回 令和8年2月9日

参加者：43人（利用者27人・職員16人）

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

契約者数（年度末）	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和7年度	13人	68人	12人	0人	26人	119人
令和6年度	14人	66人	12人	1人	26人	119人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

8. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 令和7年6月10日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数10人(監事2人含む)
 - ・令和6年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和6年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和8年3月18日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数7人
 - ・令和8年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和8年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会
- 期 日：令和7年9月11日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター

◇赤い羽根共同募金

- 期 間：令和7年10月1日～令和8年3月31日
 - 目 標 額：6,400,000円(令和6年度目標額：6,800,000円)
 - 実 績 額：5,555,608円(令和6年度実績額：5,994,702円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：令和7年11月20日～令和8年3月31日
- 目 標 額：4,100,000円(令和5年度目標額：4,100,000円)
- 実 績 額：3,693,007円(令和5年度実績額：4,009,298円)

※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会開催

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：令和7年4月11日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- 参加者：21人

◇会員会費・寄付金募集

- 期 間：令和7年5月1日～令和8年3月31日
 - 目 標 額：7,567,300円（令和6年度目標額：7,567,300円）
 - 実 績 額：4,235,383円（令和6年度実績額：4,627,543円）
（自治会・町内会：4,220,273円 個人・企業：15,110円）
- ※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。